



切り絵で伝える「生きる喜び」
坂部信子のさりえ展

「生きる喜び」アジアの人々の暮らしと祈り 3M×1.5M

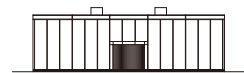
2019/4/6sat ▶ 6/23sun



富士川クラフトパーク内

富士川・切り絵の森美術館

FUJIKAWA KIRIE ART MUSEUM



切り絵で伝える“生きる喜び” 坂部信子のきりえ展

坂部信子は幼い頃から絵が大好きでいつもクレヨンを持っていた。

中学校、高校では美術部に入り、時間を見つけてはクロッキー、デッサン、スケッチなど・・・とにかくいつも絵を描いていた。やがて社会人となり結婚し、育児に忙しくなっても油彩による創作活動を続けていた。昭和50年（1975年）、油絵の具の匂いが子供に与える影響、さらには子供の成長と自分自身の生き方など考える中で、知人の薦めもあり“切り絵”という新しい分野の創作をはじめた。はじめて下絵を作り、無我夢中でカッターナイフを走らせたのを昨日のこのように覚えていると言う。一度切ったものは二度と戻らないという「潔さ」が求められる技法にも心が揺り動かされた。そして40年が経ち、坂部信子は今でも切り絵による新たな表現方法（モチーフやテーマ、構成、色彩、技法など）を模索し、挑戦を続けている。

坂部信子の作品は見る者の心を不思議な力で魅了するとともに絵の前に佇んで居たくなるような優しく温かい世界を創り上げている。何がそうさせているのだろうか？人を愛し、善意と情に溢れ、すべてのことをポジティブに考え、行動し、明るく生きていく・・・、切り絵作家坂部信子自身の人となりとそのままた作品に投影されているのは間違いないと思われる。

坂部信子は、平成5年（1993年）頃から中国、インド、タイ、ネパールなどアジア各地へのスケッチ旅行を重ねている。そこに暮らす人々のぬくもりや一瞬の表情を独特のタッチと技法で切り取りながら描いている。

平成17年（2005年）に開催した「愛・地球博」(愛知県)に展示した作品“生きる喜び”はまさにアジアの人々に対する作家の熱い想いを作品化したものである。

今回の企画展では、坂部信子のこれまでの創作活動の足跡を可能な限りお示ししたいと考えている。伝統的な日本の切り絵創作の技法を根底に踏まえつつも独自の表現技法と視線により“新たな切り絵の世界”を切り拓いてきた「坂部信子のきりえ」の全容をお楽しみいただきたいと思います。

2019/4/6sat ▶ 6/23sun

ギャラリートーク

4月7日(日) 11:00~ 13:00~
5月4日(土) 11:00~ 13:00~

ワークショップ

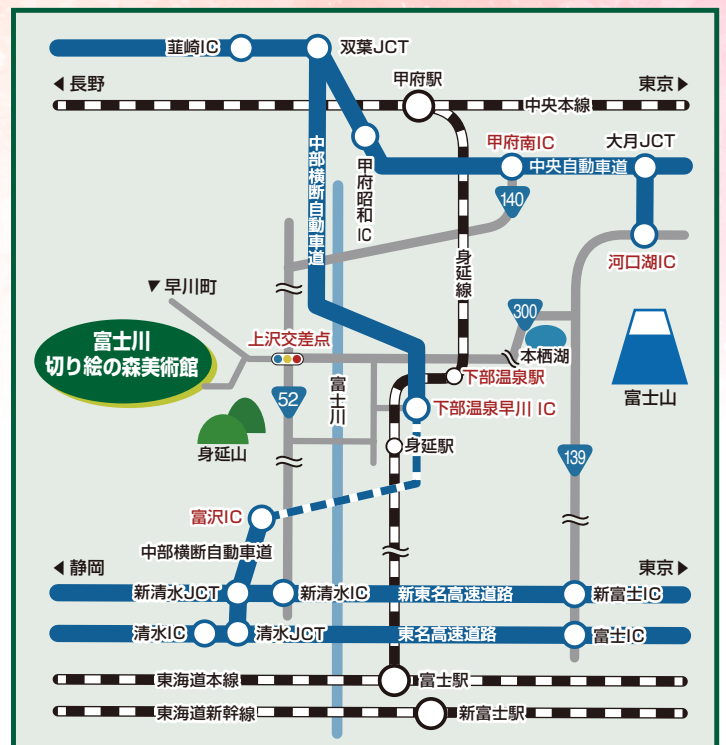
6月9日(日) 13:00~15:00
「きりえ団扇づくりに挑戦」

- 主 催：富士川・切り絵の森美術館
□共 催：山梨日日新聞社・山梨放送
□後 援：山梨県、市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町
(株)テレビ山梨、読売新聞甲府支局、朝日新聞甲府総局
毎日新聞甲府支局、産経新聞甲府支局
(株)山梨新報社、(株)エフエム富士、(株)エフエム甲府

- 開館時間：午前9時30分~午後5時30分 ※入館は閉館30分前まで
□休館日：毎週水曜日 5月1日(水)は開館
□入館料：一般700円(600円) 小中学生300円(250円)
()内は20名以上の団体料金

交通のご案内

- お車でお越しの場合
○東京・長野方面からは
・中部横断自動車道下部温泉早川ICより約5分。
身延町下山「上沢交差点」を直進。
○関西方面からは
・中部横断自動車道富沢IC下車。R52を甲府方面へ約30分。
「上沢交差点」を左折。
- JRでお越しの場合
○東京・長野方面からは
・JR甲府駅にてJR身延線に乗換。下部温泉駅下車、タクシー利用で約5分
○関西方面からは
・新幹線静岡駅にてJR身延線接続の「特急ワイドビューふじかわ」に乗換。
下部温泉駅下車、タクシー利用で約5分



富士川クラフトパーク内
富士川・切り絵の森美術館
FUJIKAWA KIRIE ART MUSEUM

〒409-2522 山梨県南巨摩郡身延町下山1597
TEL 0556-62-4500 FAX 0556-62-4115
<https://www.kirienomori.jp/>



URL QR コード